



「豊かに老いを生きる」

「老いをどう生きる②」

どんなに権力を持ち、どんなに名声を得ようとも、人は誰でも老いて死を迎える。老いによって誰もが体力が衰える。「老いをどう生きるか」は、特に高齡化社会になった現代では、極めて重要な問題だ。

「豊かに老いを生きる」の答えを見つけた。日本人の平均寿命は男性が80・98歳で、女性87・14歳。これは、健康寿命だけでなく、社会支援、自由、信頼、寛容、所得などを指数化し、世界156カ国を比較したものである。この2年間、

WHO(世界保健機関)が2000年に定めたもので「健康上の問題がない状態で日常生活を過ごせる期間」のこと。

日本人の場合、平均寿命より女性で約13歳、男性で約9歳短くなるが、この健康寿命を比較しても世界のトップクラスである。では、世界でトップクラスの幸せな国かといえばそうではない。2012年から国連が「世界幸福度ランキング」なるものを発表している。

前記のキリスト教国

「豊かに老いを生きる」

「豊かに老いを生きる」

「豊かに老いを生きる」

「豊かに老いを生きる」

「豊かに老いを生きる」

でトップから5位まであるように思える。

日野原氏は「病気で

「豊かに老いを生きる」

は北欧のフィンランド、ノルウェー、デンマーク、スイス、アイスランドとなっている。これらの国の国旗には十字架があるように、キリスト教国である。

「豊かに老いを生きる」

平均寿命や健康寿命が長いからといって、即幸せとは言えない。

「豊かに老いを生きる」

長寿であることも大切なことであるが、より大切なことは「心の豊かさ」である。

「豊かに老いを生きる」

今の日本人は経済性、利便性の高い社会で生活し、豊かな物資に囲まれ、情報も豊かな中で暮らしている。

「豊かに老いを生きる」

しかし私たち日本人は豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

豊かなのだろうか。世も薄れた。さらに、昔

「豊かに老いを生きる」

